

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2021-129869(P2021-129869A)
 【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報2021-042
 【出願番号】特願2020-27670(P2020-27670)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 6 5 3

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月26日(2021.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の開始条件の成立に基づいて当籤役を決定可能な役決定手段と、前記役決定手段により決定された当籤役に応じて特典の付与に関する判定を実行可能な判定手段と、

特別状態及び非特別状態を制御可能な状態制御手段と、を備え、

前記判定手段は、

前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が第1役である場合には、第1条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、且つ、前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第1役と異なる第2役である場合には、前記第1条件よりも遊技者に有利な第2条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、

前記特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第1役である場合には、前記第2条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、

さらに、第1遊技状態と、該第1遊技状態から移行可能な第2遊技状態とを備え、

前記状態制御手段は、前記第1遊技状態において、前記非特別状態から前記特別状態に移行させる制御を実行可能であり、

前記第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行する際に、移行前の前記第1遊技状態において前記特別状態が発生している場合には、当該特別状態は、移行後の前記第2遊技状態においても維持可能であり、

前記特別状態の発生を報知する特別状態報知演出を備え、前記第1遊技状態で発生した前記特別状態が前記第2遊技状態においても維持される場合には、前記第1遊技状態で開始された前記特別状態報知演出は前記第2遊技状態にわたって継続して行われる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

また、従来、ノーマルモード又はスペシャルモードの上乗せ抽選テーブルを用いて A T の上乗せ抽選を行う遊技機が知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 1 2 - 1 3 9 2 6 2 号 公 報

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

上述のように、従来、複数種の上乗せ抽選テーブルを使用して A T の上乗せを可能にする遊技機が知られている。しかしながら、上記特許文献 1 では、複数種の上乗せ抽選テーブルを用いても、内部当選役と上乗せ判定との関係性は各モードにおいて固定されており、上乗せ等の特典付与のパリエーションが限定的であった。また、パリエーションを増やすために抽選テーブルの数を増やすと、抽選テーブルのデータを格納するため膨大な記憶領域が必要となるという問題があった。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 9 】

本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の目的は、特典付与に係るデータ量の軽減を図りつつ、特典付与のパリエーションを増やすことが可能な遊技機を提供することである。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 1 】

所定の開始条件の成立に基づいて当籤役を決定可能な役決定手段（例えば、後述の内部抽籤処理）と、

前記役決定手段により決定された当籤役に応じて特典の付与に関する判定を実行可能な判定手段（例えば、後述の各種出玉抽籤）と、

特別状態（例えば、後述のランプ点灯状態）及び非特別状態（例えば、後述のランプ非点灯状態）を制御可能な状態制御手段（例えば、後述の主制御基板 7 1）と、を備え、

前記判定手段は、

前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が第 1 役（例えば、後述の「弱チェリー」に係る役）である場合には、第 1 条件（例えば、後述の「弱チェリー」に対する抽籤値）で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、且つ、前記非特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第 1 役と異なる第 2 役（例えば、後述の「強チェリー」に係る役）である場合には、前記第 1 条件よりも遊技者に有利な第 2 条件（例えば、後述の「強チェリー」に対する抽籤値）で前記特典の付与に関する

判定を実行可能であり、

前記特別状態において前記役決定手段により決定された当籤役が前記第1役である場合には、前記第2条件で前記特典の付与に関する判定を実行可能であり、

さらに、第1遊技状態（例えば、後述のAT中通常状態等）と、該第1遊技状態から移行可能な第2遊技状態（例えば、後述の上乗せゾーン等）とを備え、

前記状態制御手段は、前記第1遊技状態において、前記非特別状態から前記特別状態に移行させる制御を実行可能であり、

前記第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行する際に、移行前の前記第1遊技状態において前記特別状態が発生している場合には、当該特別状態は、移行後の前記第2遊技状態においても維持可能であり、

前記特別状態の発生を報知する特別状態報知演出（例えば、後述のフラグ昇格報知演出）を備え、前記第1遊技状態で発生した前記特別状態が前記第2遊技状態においても維持される場合には、前記第1遊技状態で開始された前記特別状態報知演出は前記第2遊技状態にわたって継続して行われる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記構成の遊技機によれば、特典付与に係るデータ量の軽減を図りつつ、特典付与のパリエーションを増やすことができる。